

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------|----|---------|-----------------|---------------------------------------|----------------|---|
| シラバス年度 | 2021 | 開講キャンパス | | 都城キャンパス | 開設学科 | | 環境園芸学科 | |
| 科目名称 [英語名称] | 造園施工実習 [Landscape Construction Practice] | | | | 実務経験 教員担当 | ○ | アクティブ ラーニング | ○ |
| 科目コード | 234500 | 授業形態 | 実習 | 単位数 | 2 | 配当学年 | 3年次 | |
| 教員氏名 | 櫻井 清喜 | | | | 学位授与の方針 との関連 | DP1(1) DP3(2) DP3(5) | | |
| 授業概要 | <p>石積工事、園路工事を中心として実施する。それに伴い石積工・石張工・ラチス工・花壇工・土工・セメント工・植栽工、工事測量（位置出し・クイ打ち・レベル・丁張り）、施工管理、施工検測などの技術を習得する。担当教員が普通の業務で実践している経験から教育する。本実習は少人数の班編成で実施し、精度の高い一連の造園施工技術を学ぶ。これらの内容を通じて、安全に正しく造園作業を行うことができる造園人の姿勢を培う。夏期に集中講義で実施し、学外で実施することもある。下記授業計画は一例である。授業の実施時において、最も効果的な内容を選択する。 【知識・理解の活用、課題解決】【汎用的技能、諸要因探求】【人間力、他者と協調】</p> | | | | | | | |
| 関連する科目 | 関連科目は、「造園ガーデニング実習Ⅰ、Ⅱ」である。これらを受講したうえで受講することが望ましい。 | | | | | | | |
| 授業の進め方と方法 | 受講者をグループに分け、テーマごとに実施します。目標としている課題を達成するための身体の動かし方を体験します。 | | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 スケジュール説明：施工目的、施工場所、施工人数の確認 2 石積工 準備工：自然石による小端積・施工場所のデザイン検討・説明 3 石積工 準備工：自然石による小端積・施工場所のデザイン検討・議論 4 石積工 準備工：自然石による小端積・施工場所のデザイン検討・決定 5 石積工 準備工：自然石による小端積・施工場所のデザイン検討・発表 6 石積工 工事測量：自然石による小端積・位置出し・クイ打ちレベル丁張 7 石積工 工事測量：自然石による小端積・位置出し・クイ打ちレベル丁張・確認 8 石積工 施工前準備工：自然石による小端積・施工場所の把握 9 石積工 施工前準備工：自然石による小端積・不用木の掘取移植 10 花壇工 施工前準備工：花壇・ラチスフェンス工・説明 11 花壇工 施工前準備工：花壇・ラチスフェンス工・床掘 12 花壇工 施工前準備工：花壇・ラチスフェンス工・仮枠組 12 花壇工 施工前準備工：花壇・ラチスフェンス工・確認 13 花壇工 石積工：自然石積・説明 14 花壇工 石積工：自然石積 15 枕木布設工 石積工：枕木加工据付 自然石の加工石積・説明 16 枕木布設工 石積工：枕木加工据付 自然石の加工石積・位置出し 17 枕木布設工 石積・石張工：枕木布設仕上げ 自然石の加工石積・自然石選別 18 石張工 自然石の加工石張・説明 19 石張工 自然石の加工石張 20 植栽工 客土・中高木植え付け 19 植栽工 中高木植え付け・支柱 20 植栽工 中高木・支柱 21 植栽工 低木類植え付け 22 植栽工 養生仕上げ 23 石積工 石張・仕上げ 24 石積工 石張・平面の研磨 25 施工検測：実測作業 26 施工検測：実測の確認 27 施工検測：施工実際の確認 28 実習道具の後片付け、手入れ 29 実習の総括、とりまとめ 30 実習内容に関する成果発表 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | 造園ガーデニング実習ⅠⅡの基本技術を応用し、具体的な場所にデザイン施工し、一連の造園施工プロセスを体得する。 | | | | | | | |
| 授業時間外の学修 | 日ごろから造園の現場を見学したり、庭園を見学したりしておくこと。 インターネットで作庭の動画などを視聴すること。 | | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 実習授業なので、その日の実習内容が主な課題となります。説明をよく聞いて、適切に実施できているかどうかは観察され、問題点があれば指摘されます。 | | | | 評価方法 | 実習への取り組み状況と課題で評価する(100点)。その割合は3:1である。 | | |
| テキスト | 授業中に配布する資料など | | | | | | | |
| 参考書 | 多数あるので、授業中に紹介する。 | | | | | | | |
| 備考 | 卒業制作を行いたい学生は本科目を必ず履修しなければならない。 また造園ガーデニング実習ⅠⅡを受講した学生のみ、本科目の受講を認める。 | | | | | | | |